



西山形 コミスクだより



令和7年2月28日
西山形小学校
運営協議会
事務局
NO.2

後期の教育活動を振り返って

後期も、地域の皆様のご協力をいただきながら、前期の学習をベースに校内外の人的・物的な教育資源をフル活用して、さらに学びを深めることができました。

【成果】前期の体験で得た地域の方々とのつながりが、後期の様々な活動と有機的に結びついて、子どもが地域の方々や地域を自分に引きつけて考えるようになりました。こういった活動を継続していくことで、地域に関わる事柄を自分事としてとらえ、新たな発想で地域を見る目が育ってきています。

【経営の方針重点】★は令和6年度の重点

方針1：五感をはたらかせた体験・学びを充実させていく。

★方針3：西山形地区の豊富な人材・豊かな自然・唯一無二の歴史・伝統を、最大限に生かしていく。

①保護者、地域の方とともに「本物」に触れて学ぶ



伝統の田植踊り



初めてたたく太鼓の音は？



2回目はみんなで発表

1753年からおよそ270年の長きにわたり受け継がれてきた郷土芸能「田植踊り」を学びました。西山形柏倉田植踊り保存会のみなさんと一緒に楽しみました。

学校スタートの学習が、地域の方とつながりさらに広がっていきました。



西公園で秋さがし



秋のもので作る



昔の遊び



祖父母と共に



杉崎ボタニカルアート訪問



自然のアート遊びクラブ



元気もりもり運動一番クラブ



遊びを共に楽しむ

全校生55人の少人数ではありますが、カリキュラムをマネジメントし、効果的に体験活動を組み入れ学びを深めることができました。

②地域を教材にし学習を深め、地域のよさを発見する



キウイ給食地域の産業の特色を学ぶ



郷土書籍「西山形の散歩道」で学習



セイノーコーポレーション見学



隣のントリーエレベーター見学



最上義光と西山形地区の縁を知る



全校生でお世話になった皆様に感謝の会

③学校を開き、社会とつながりながら学ぶ



市立図書館へGO！



図書館のききみみの会の語り聞く



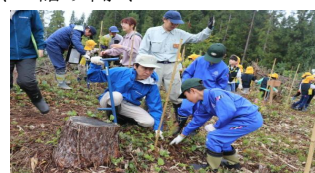
被爆ピアノをきっかけに戦争を知る



富士通とプロジェクト会議



キラキラランド再整備



緑の少年団 植樹祭参加



旧校舍イベント

写真の学習などを契機として、子ども達は今まで無意識に見ていた「地域」の価値を捉え直し、それぞれ異なる内容を学びながらも「地域の中の自分」を実感していました。郷土愛の育成につながる学びを展開できたのは、学校、家庭、地域の連携の成果と言えます。

方針2:「少人数のよさ」を生かし、一人一人の探究的な学びを充実させていく。

方針5:教職員が集中して学習や活動の準備ができるように、共通理解を図りながら組織および環境を整えていく。

【成果】校内研究会で、宮城教育大学の猪股亮文先生、山形大学の森田智幸先生から本校の取り組みについて具体的にご指導いただきました。未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力を育むために、課題を明らかにして授業改善に取り組むことができました。

方針4:コミュニティセンターや学童クラブ等と連携し、それらにつながる学習を実施していく。

【成果】昨年度強化した協力体制を生かし、冬休み学習会やだんご木づくり DVD お披露目餅つきイベント等に子ども達が参加しました。三者で子どもの育ちを支えることができるように、情報交換を密にし、地域の行事を通して地域を身近に感じられるようにしていきたいと考えています。

